

令和4年度

事業報告書

(自) 令和4年4月1日

(至) 令和5年3月31日

社会福祉法人

琴浦町社会福祉協議会

令和4年度 事業報告

概 要

長く続いた新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、自治会の集まりや活動ができにくい状況となり、集落訪問活動をさせていただく中、住民同士のつながりや関係性、協力体制が弱くなってきているように思います。

そこで、町と連携し、防災や地域づくりのため、支え愛マップ作成などの住民主体の福祉活動の支援や、地域の中での住民の孤立、閉じこもり、介護などの問題を抱えている方の把握と地域の困りごとを関係機関に繋ぐなどの取り組みを進めました。また、ホームページやSNSを活用した福祉の情報発信に努めました。

介護サービス、障がい福祉サービス事業は、コロナ感染症対策を取りながら、安心、安全に利用できる事業運営に努めました。

また、琴浦町社会福祉センターは、本来は町が建設を検討してきた経過があり、また今後施設の維持管理が本会では財政的に困難になってきているため、令和4年9月、社会福祉センターとその建築されている土地及び車庫を町へ無償譲渡し、本会の基本財産の処分を行いました。

重点事業

1 町民の福祉に対する意識の高揚と啓発について

【評価と課題】

町民の福祉への意識を高めるため、広報紙、ケーブルテレビ、ホームページ、特にSNSを活用して福祉の情報発信を行いました。全町民を対象にした福祉体験フェスティバルでは、VRによる認知症体験、小・中学校では当事者の福祉疑似体験、琴の浦高等特別支援学校には福祉学習の出前講座を行うなど、福祉についての啓発に努めました。

また、集落訪問を実施し、23集落の福祉委員、区長、愛の輪協力員などから地域の福祉活動の状況と課題について、聞き取りや意見交換を行い課題把握に努めました。引き続き令和5年度も取り組んでいきます。

2 地域の困りごとを町民と協働しながら課題解決に向けた地域づくりについて

【評価と課題】

民生児童委員、福祉委員、愛の輪協力員による集落内の見守り活動や相談相手などの活動協力により、安心して暮らし続けことができる地域づくりに取り組みました。

集落の地域福祉活動であるふれあいいきいきサロンの実施集落は、近年減少傾向にあり、全集落の約9%の取り組みとなっています。サロンの事業効果には住民同士のつながり、閉じこもりの予防、仲間づくりなどがあげられます。コロナ禍で弱くなったつながりが再構築できるサロンを開催していただけるよう集落の支援をしていきます。

新規の支え愛マップ作成は6集落でした。全体ではまだ約26%と少ない現状です。災害

時だけでなく平常時においても身近な見守り体制の仕組みづくりとして、町防災担当などと連携し引き続き作成への支援に力をいれていきます。

3 安心して利用できる福祉サービスの利用の促進について

【評価と課題】

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により減収や失業等となった世帯に対して9月末まで生活福祉資金コロナ特例貸付の相談を受けました。貸付の受付とあわせて、希望者には町民などからの寄付による食品を提供し、生活の一助に取り組みました。

また、1月から償還が開始となった世帯の免除・猶予申請についての相談や、手続きの支援、生活相談など、相談者の生活再建のため、町的生活困窮者自立支援事業と連携を図り支援を行ないました。

日常生活自立支援事業や法人後見援助事業では、利用者（被保佐人）の権利擁護と意思決定を尊重した後見活動に取り組みました。

社会福祉法人の公益的な取り組みでは、法人連絡会（担当者会議）を通して、生計困難者等を対象に、新たな公益的な取り組みとして日用品の支給に取り組みました。

4 法人運営及びその他福祉活動について

【評価と課題】

適正な法人運営にあたり関係法令、通知により定款及び諸規程の遵守と適正な役員等の選任手続及び理事会・評議員会の運営と適正な会計処理及び財務管理に取り組みました。

また、琴浦町と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書を締結し、今後、災害発生時におけるボランティア活動を町と連携し、災害復旧のための支援の協力を行います。

なお、毎月実施する安全衛生委員会においては、福祉サービス等における苦情、事故、ヒヤリハットなどの報告と検証により、利用者の権利擁護と安心して利用できる福祉サービスなどの提供に取り組みました。

1 町民の福祉に対する意識の高揚と啓発について

1 広報活動

(1) 社協だよりの発行

社協活動について、会員である町民の方に福祉の情報紙として、『社協の福祉だよりに』を発行し全戸に配布しました。（8月・1月 計2回発行）

(2) 行政放送、ケーブルテレビの活用

会費・募金の協力についてのご願い、社協事業・活動への参加の呼びかけ等を行い、町民に広く周知を図りました。

(3) ホームページ、フェイスブックの運用

ホームページを運用し、いつでもどこでも福祉サービスの情報が閲覧でき、各種申請書等を取得できるよう利便性を図りました。また、フェイスブックを開設し、身近で親しみやすい記事を投稿し、町民の方へ社協の事業や魅力が伝わるよう、情報発信を行ないました。

ホームページ訪問ページ件数（1月～3月）：12,568件、平均4,189件/月
（令和3年度：10,916件、平均3,639件/月）

〃 アクセス件数（1月～3月）：2,330件、平均776件/月

フェイスブックフォロワー数：64名（令和4年度末）

(4) 琴浦町福祉大会の実施

日 時：令和5年3月5日（日）13:30～15:15 参加者113名

場 所：まなびタウンとうはく

内 容：琴浦町社協会長表彰 受賞者5名

講演 「地域共生社会の実現に向けたこれからの地域福祉のあり方」
～孤立のない支え愛のまちづくりを目指して～

講師 鳥取大学地域学部 教授 竹川 俊夫氏

販売 東伯けんこう、琴浦ふれあい事業所

福祉大会参加者（推移）

	H28	H29	H30	R元	R2	R3
参加者数	185	174	165	213	中止	中止

(5) ことうら福祉体験フェスティバルの開催

日 時：令和4年11月20日（日）10:00～12:00 参加者 17名

内 容：VR認知症体験 ※株式会社シルバーウッドによるVR機器を使用した体験

VRを使って認知症当事者の世界を体験することで、認知症への理解が深まる機会となりました。

(6) ふれあいいきいきサロンの実施 14集落

小地域において住民主導型で、会食やレクリエーション等を通じて交流を図るサロン活動の支援を行いました。

いきいきサロン実施集落（推移）

	H28	H29	H30	R元	R2	R3
実施集落	29	27	25	20	20	14

ア、サロン実施集落にレクリエーション指導に職員派遣実施 1回/年

イ、集落への職員派遣 敬老会 0回/年（令和3年度 0回）

(7) 福祉座談会の実施 1集落（大杉集落）

福祉座談会実施集落（推移）

	H28	H29	H30	R元	R2	R3
実施集落	4	5	5	9	2	0

実施集落 81集落（令和4年度末）（進捗度53%）

(8) 福祉教育の推進

福祉体験学習出前講座の実施（7回）

小・中学校の総合的な学習時間の授業で、福祉体験（車いす、アイマスク、高齢者疑似体験）を実施し、体験による気づき、福祉の心を育てることを支援しました。また、琴の浦高等特別支援学校の福祉学習で問題提起や助言を行ない、地域福祉の理解を深めることを支援しました。また、福祉学習サポーターに協力いただき、福祉についての講話と体験のサポートをしていただきました。

実施日	対象者	参加者数	内 容
7月4日	赤碕中学校1年生	8人	・車いす、アイマスク体験 ・福祉学習サポーターの講話及び補助
10月19日	船上小学校5年生	25人	・高齢者疑似体験 ・福祉学習サポーターの講話及び補助
10月26日	琴の浦高等特別支援学校3年生	7人	・福祉学習サポーターの講話 ・調べ学習への助言
11月9日	琴の浦高等特別支援学校3年生	8人	・調べ学習
1月31日	浦安小学校3年生	24人	・車いす、アイマスク体験 ・福祉学習サポーターの講話及び補助
2月21日	聖郷小学校4年生	23人	・高齢者疑似体験 ・福祉学習サポーターの補助
2月24日	聖郷小学校4年生	23人	・車いす体験 ・福祉学習サポーターの講話及び補助

福祉体験学習出前講座実施（推移）

	H29	H30	R元	R2	R3
講座実績数	5	6	5	7	5

(9) 地域交流カフェ「あいサロン」の開催

琴の浦高等特別支援学校3年生、個人ボランティア、生活支援コーディネーターと協働して地域住民との交流の場として開催しました。

日 時：9月28日（水）10：15～11：20 参加9名

12月31日（水）10：15～11：20 参加9名

場 所：旧安田保育園（安田地区振興協議会）

内 容：新わくわく琴浦体操、レクリエーション、支援学校による野菜販売

2 地域の困りごとを町民と協働しながら課題解決に向けた地域づくりについて

(1) 福祉委員の選任 154名（各集落1名）

(2) 愛の輪協力員の選任 187名 (対象者191名)

(3) 集落訪問の実施

社協と地域との関係づくりと地域の課題に対する取り組みについて必要とされる施策について把握するため訪問しました。

実施集落 23集落 (令和3年度 41集落) (進捗度78%)

(4) わが町支え愛活動推進事業 (町・県補助事業) の取り組み推進

「支え愛マップ」作成を支援し、集落内の災害時の防災意識と誰もが安心して暮らせる地域づくりを支援しました。

① 実施集落 6集落 (金屋、槻下北団地、太一垣、赤碕金屋、仲之町、竹内)

【目標:10集落】 作成集落41集落 (進捗度26%)

② ステップアップ事業 2集落 (国実、大杉)

支え愛マップ作成 (推移)

	H28	H29	H30	R元	R2	R3
作成集落数	2	3	2	2	4	11

③ 支え愛マップ作成に向けた集落等への説明会

・上三本杉、槻下南団地、金屋、太一垣、赤碕金屋、仲之町、竹内

(5) 福祉委員・愛の輪協力員研修会の実施

日時:①令和4年4月17日(日) 9:30~10:40 参加者26名

② " 13:30~14:40 参加者77名

場所:まなびタウンとうはく

内容:説明 「地域共生社会に向けたこれからの取り組みについて」

事例発表 「大杉のわが町支え愛活動支援事業の取り組みについて」

発表者 大杉 前福祉委員 米田靖生氏

講演 「災害時の備えについて」

講師 琴浦町役場 総務課防災危機管理室 室長 佐藤陽一氏

(6) 夏休みボランティア活動体験事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

(7) ボランティアセンター事業

①ボランティア登録 (28団体 延528名 個人55名)

・ボランティア活動者の募集 (ホームページに掲載)

・ボランティア派遣調整

②ボランティア養成講座

・第1回 (入門編) 参加者3名

日時:令和4年11月10日(木) 10:00~11:20

場所：まなびタウンとうはく

内容：「ボランティアの心構え」

- ・第2回（災害ボランティア編） 参加者 13名

日時：令和5年2月28日（火） 10:00～11:00

場所：まなびタウンとうはく

内容：「鳥取県中部地震 社協と災害VCの現場で

～倉吉市災害ボランティアセンターの取り組み～」

倉吉市社会福祉協議会 林原香里氏

- ③災害ボランティアセンター運営研修 参加者 32名

日時：令和5年3月19日（日） 10:00～11:30

場所：琴浦町赤碕地域コミュニティセンター

内容：「災害ボランティアセンターの基本理解

～社協と災害ボランティア～」

日野ボランティア・ネットワーク副代表 森本智喜氏

3 安心して利用できる福祉サービスの利用の促進について

(1) えんくるり事業

①こども食堂の実施

コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

②生活用品支援事業（新規事業）

町内社会福祉法人による公益的な取り組みとして、一時的に必要な生活用品を提供し生活困窮者等の自立を支援しました。

・寄付者数 7名

・支援人数 2名

③生計困難者に対する相談支援と経済的援助

生計困難者へ現物給付により生活再建への支援を行いました。

経済的援助世帯 4世帯（援助回数6回）（R3年度 3世帯）

(2) 日常生活自立支援事業

日常生活に不安をかかえている高齢者や障がいのある方を対象に、預貯金の出し入れ、福祉サービスの利用援助、書類の預かり等を行いました。

・利用人数9名（新規契約1件） 延べ支援回数 159回

・生活支援員 7名

契約締結内部審査会 11回実施

(3) 成年後見援助事業

認知症、障がいのある方に成年後見制度に基づき、生活上の法律行為と身上保護、財産管理を行いました。

- ・被保佐人 2名

被保佐人2名死亡により受任終了となりました。

(4) フードサポート事業

生活が困窮されている方へ食材や食品を提供し、生活の一助とし自立を支援しました。

寄付登録数 企業・商店 12社、個人 7人

利用件数 5件 (R3年度 4件)

(5) 資金貸付事業

①福祉資金貸付事業

ア、延滞件数(3月31日現在) 1件 貸付残高23,000円

※新規貸付は令和2年度より休止

②生活福祉資金貸付事業(鳥取県社会福祉協議会事務委託)

ア、新規貸付件数(緊急小口資金) 1件

③新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付

- ・緊急小口資金 5件
- ・総合支援資金 5件

4 法人運営及びその他福祉活動について

(1) 法人運営事業

地域福祉事業を円滑に推進及び実施するため、会員を募集し会費の取りまとめを行いました。

また、理事会、評議員会等を開催し健全な事業運営に取り組みました。

(2) 会員制度

	会員数	R3年度	金額	R3年度
一般会員	4,718世帯(86.9%)	4,820世帯	4,074,500円	4,152,120円
特別賛助会員	394名(個人・法人)	414名	865,000円	970,000円

(3) 理事会の開催(5回)

回数	開催日	人数	議 事
1	令和4年4月27日	理事8名 監事2名 欠席理事2名	(1) 通所介護事業所運営規程の一部改正について (2) 理事選任候補者(案)について (3) 評議員選任候補者の推薦について (4) 令和4年度第1回評議員会の開催について

2	令和4年 6月3日	理事12名 監事2名	(1) 令和3年度事業報告について (2) 令和3年度決算について 監査報告 (3) 経理規程の一部改正について (4) 令和4年度補正予算(第1号)について (5) 基本財産の処分について (6) 令和4年度第2回評議員会の開催について
3	令和4年 10月6日	理事11名 監事2名 欠席理事1名	(1) 居宅介護支援事業の廃止について (2) 社会福祉センター設置運営の廃止について (3) 定款の一部変更について (4) 令和4年度琴浦町社会福祉協議会長表彰について (5) 新評議員選任候補者の推薦について (6) 令和4年度第3回評議員会の開催について
4	令和4年 12月5日	理事10名 監事2名 欠席理事2名	(1) 高齢者憩の家の贈与について (2) 令和4年度補正予算(第2号)について (3) 令和4年度第4回評議員会の開催について
5	令和5年 2月22日	理事10名 監事2名 欠席理事2名	(1) 令和3年度補正予算(第3号)について (2) 経理規程の一部について (3) 通所介護事業所運営規程の一部改正について (4) 身元保証規程の廃止について (5) 就業規則の一部改正について (6) 役員等賠償責任保険契約締結について (7) 令和5年度事業計画について (8) 令和5年度収支予算について (9) 令和4年度第5回評議員会の開催について

(4) 評議員会の開催(5回)

回数	開催日	人数	議 事
1	令和4年5 月13日	評議員11名 会長、副会長 監事2名 欠席評議員 2名	(1) 理事の選任について
2	令和4年 6月24日	評議員11名 会長、副会長 監事2名 欠席評議員 2名	(1) 令和3年度事業報告について (2) 令和3年度決算について 監査報告 (3) 令和4年度補正予算(第1号)について (4) 基本財産の処分について
3	令和4年 10月18日	評議員13名 会長、副会長	(1) 居宅介護支援事業の廃止について (2) 社会福祉センター設置運営の廃止について (3) 定款の変更について

4	令和4年12月14日	評議員12名 会長 欠席評議員1名	(1) 高齢者憩の家の贈与について (2) 令和4年度補正予算(第2号)について
5	令和5年3月3日	評議員9名 会長 欠席評議員4名	(1) 令和4年度補正予算(第3号)について (2) 令和5年度事業計画について (3) 令和5年度収支予算について

(5) 監査(2回)

回数	開催日	人数	内 容
1	令和4年5月17日	監事2名	令和3年度決算監査
2	令和4年11月16日	監事2名	令和4年度定期監査

(6) 評議員選任・解任委員会(2回)

回数	開催日	人数	内 容
1	令和4年5月2日	出席委員5名	評議員の選任について(1名)
2	令和4年10月12日	出席委員5名	評議員の選任について(1名)

(7) 苦情処理第三者委員会

回数	開催日	人 数	内 容
1	令和5年3月13日	委員5名 欠席委員 なし 事務局長他管理職員3名	1 本会に寄せられた苦情・事故等の検討 期間：令和4年4月～令和5年3月まで (1) 苦情について 0件 参考(R3:1件) ・福祉サービスに関する事項 0件 ・従業員に関する事項 0件 ①通報 2件 (2) 福祉サービス事故について 6件 参考(R3:7件) ・利用者の人身 転倒 2件 ・利用者の精神的苦痛 0件 ・事業所の経済的損害 0件 ・事業所の経済的損害未遂 2件 ・その他 利用料の引落日間違い 2件 ①ひやり・ハット 0件 参考(R3:1件) ・送迎介助 0件 ・食事 0件 ・入浴介助 0件

			・トイレ介助	0件	
			・日中活動	0件	
			・その他	0件	
			(3) 車両事故について	3件	参考 (R3 : 14件)
			・車両損傷	6件	
			① 車両ひやり・ハット	2件	

(8) 琴浦町災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書の締結

締結日：令和5年2月6日

(9) 琴浦町民生児童委員協議会助成金交付事業

琴浦町共同募金委員会の一般募金配分金を活用し、琴浦町民生児童委員協議会が実施する地域福祉活動に対し助成金を交付しました。(助成額 396,000 円)

(10) 歳末たすけあい事業

琴浦町共同募金委員会の歳末たすけあい配分金を活用し、小学校入学児童、中学校入学生徒に祝い品の贈呈を行いました。

① 小学校入学祝い品贈呈事業

入学児童 119名 祝い品【クレパス(16色)・連絡袋】

学校名	児童数(名)	学校名	児童数(名)
八橋小学校	27	赤碕小学校	20
浦安小学校	35	船上小学校	20
聖郷小学校	15	倉吉養護学校	2

② 中学校入学祝い品贈呈事業

入学生徒 143名 祝い品【デザインセット】※町外中学の生徒は図書カード

学校名	生徒数(名)	学校名	生徒数(名)
東伯中学校	75	赤碕中学校	63
町外中学校	5		

③ 除雪機購入費助成事業

新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止しました。

(11) 福祉センターの運営

①町内外の各種の会合、趣味活動の場に福祉センターを提供しました。なお、浦安地区公民館改修工事のため、9月からは貸館を中止しました。

	社会福祉センター		老人福祉センター	
	利用回数(回)	利用人数(名)	利用回数(回)	利用人数(名)
ボランティア関係	17	172	12	48
福祉団体活動	35	248	ヘルストロン利用者 0	
趣味活動	226	1,766		
その他	10	10		

ヘルストロン利用		9	
合 計	288	2,205	

②町民の健康増進及び交流を目的にふれあい交流広場を提供しました。

利用回数(回)	利用人数(名)
5	50

③高齢者の生きがいきづくり活動へ施設の貸出をしました。

教室名	開催回数(回)	参加延人数(名)	場 所
竹細工教室	51	364	本所 いこいの家
陶芸教室	44	326	本所 いこいの家

※感染症対策として、使用団体には検温と施設使用後の消毒、清掃を依頼しました。

(12) 慰霊事業

祭壇の貸出 2件 (R3年度 1件)

(13) 貸出事業 ()は貸出件数

① イベント用器具の貸出(集落の行事、保育園の行事ほか)

綿菓子機2台 (0回)	ポップコーン機3台 (0回)	かき氷機1台 (0回)	テント (1回)
----------------	-------------------	----------------	-------------

② レクリエーション用具の貸出(いきいきサロン、保育園の行事ほか)

グラウンドゴルフ (11回、7回)	ペタンク (1回)	輪投げ (3回)	スカット ボール (4回)	ボッチャ (室内) (15回)	モルック (4回)
----------------------	--------------	-------------	---------------------	-----------------------	--------------

③福祉用具の貸出

車椅子の貸出 16件 (R3年度 19件)

(14) 重層的支援体制整備事業における相談員の設置

断らない相談窓口として相談員を設置し、多機関協働事業及び生活困窮者等自立相談支援機関と連携しました。

年間相談件数 延96件 (内新規相談 47件)

(15) 法人連絡会の実施(町内社会福祉法人による公益的な取り組み)

立石会・赤碓福祉会との連絡会・・・2回

・主な検討事項

- 第1回 R4.5.30 ・日用品支援事業実施について
 第2回 R5.1.19 ・ひきこもりの状態にある方等の社会参加や就労について
 (事業説明者：鳥取県社協 地域福祉部)

(16) 学用品リユース事業 (令和5年2月1日 新規事業)

子どもの就学、子育て世帯への支援及び資源の有効活用のため新規事業として立ち上げました。

(17) 介護ボランティア事業 (町委託事業)

40歳以上の方を対象に介護ボランティアに登録していただき、介護施設等でボランティア活動の派遣調整を行ないました。コロナ禍のため、受け入れを中止されている施設もありましたが、継続的なボランティア活動を通してボランティア自身の介護予防につなげました。

登録者数 28名 (令和3年度 29名)

活動延人数 232名 (令和3年度 269名)

5 介護保険事業について

【評価と課題】

通所介護事業はコロナ禍の中、職員体制確保のため3日休所しましたが、デイサービス内での感染拡大等起こすことなく事業実施しました。また、大雪のため3日休所しており、約43万円の減収となりました。

利用状況は月～金の利用定員30名/日に対し平均16名、稼働率は57%、土は10名/日に対し平均8名、稼働率は73%でした。減少した要因としては、利用者の体調変化による施設入所が6名、逝去が5名、他事業への移行が1名あり、年間12名の登録者数減に伴う実利用者数の減少と、居宅介護支援事業の廃止などもあり新規利用者獲得が困難となっています。新規登録は2名ありましたが、内1名は要支援者のため利用回数は少なく、また要介護の方は利用開始後数か月で逝去されました。

今後も、より幅広くデイサービスの事業活動を公式LINEや広報等で情報発信し、利用者増の取組を進めていきます。

また、土曜の利用者数10名の確保が急な休み等で難しいため、規程を定員15名に変更し、令和5年度は10名以上の利用数が確保できるようにします。

1 介護保険事業

() は令和3年度利用実績

事業名	事業内容	項目	利用実績
通所介護事業	利用者の自立支援と、在宅における介護者の負担軽減などを目的とし、日中活動の提供と入浴・	利用者数	22名 (40名) 介護 20名 (30) 支援 2名 (10)

	排泄時の支援、食事の提供と食事介助、生活指導などのサービス提供を行い、利用者が楽しみを持って活動できるよう支援しました。 開所日数：317日	延利用者数	4,765名(5,890名) 介護 4,313名(5,146) 支援 452名(744)
--	---	-------	--

6 障がい自立支援事業について

【評価と課題】

障がい福祉課では、コロナ感染防止対策に取り組み、施設内での感染はありませんでした。事業活動、事業収支は安定していますが、事業展開によって設備投資や人員の確保、利用対象地域の拡大など検討事項があり、法人の方向性を確認しながら、対応していく必要があります。

生活介護事業は、就労継続支援B型事業と併用されていた利用者1名が12月に生活介護事業の利用となりました。重度障害児支援事業補助金や強度行動障害加算、要医療障がい児者在宅支援事業の助成を受け、重度障がい者への対応に努めました。

今後も、年齢や障害特性が異なる利用者のニーズに沿った支援を行いながら、新規利用者や重度障がい者の受け入れができるよう、職員体制や環境整備等を随時行います。

就労継続支援B型事業は、生活介護事業と併用されていた利用者1名が移行されました。軽作業では、町内企業との契約更新し、新規に宝製菓(株)からの委託を受けました。清掃作業では、お墓掃除が認知され依頼も増えました。農園作業では、昨年に引き続き薩摩芋を植え、干し芋や焼芋を販売し、平均工賃も2,633円アップの16,049円となりました。

今後も幅広く多機関と連携を行いながら、利用者の工賃アップに向けて取組みます。また、サービス提供可能な範囲で土曜日を開所し、障がい者の地域生活の充実を図ります。さらに、商品のPRや事業活動をSNSで配信し、新規利用や収益増に繋がります。

1 障がい者自立支援事業

()は令和3年度利用実績

事業名	事業内容	項目	利用実績
生活介護事業	常に介護が必要な障がいのある人に、日中活動の場を提供し入浴・排せつ・食事の介護や機能訓練、創作活動、生産活動を通じた自立支援に努め、かつ、年間行事を通じて社会参加を行ないました。 【目標：利用者 20名/日】 開所日数：242日	1 利用者数	19名 (19名)
		2 延利用者数	3,347名 (3,468名)
就労継続支援B型事業	一般企業での就労が困難な障がいのある人に、働く場を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のための支援に努め、	1 利用者数	18名 (19名)
		2 延利用者数	3,756名

	かつ、年間行事を通じて社会参加を行ないました。 【目標：利用者 20名/日】 開所日数：274日		(3,486名)
相談支援事業	障がいのある人やご家族等との相談や本人のサービス等利用計画の作成、モニタリングを実施し、関係機関との連携を図り在宅生活の支援を行ないました。	1 契約者数	(者) 91件 (児) 22件 (114件)

2 地域生活支援事業

() は令和3年度利用実績

日中一時支援事業	障がい者等の日中活動の場を提供し、家族の就労支援及び日常的に介護をしている家族の一時的な休息を図るための支援を行ないました。 【定員：10名/日】 開所日数：289日	1 利用者数	19名 (17名)
		2 延利用者数	1,492名 (1,851名)